

# OSAKAから21世紀都市の再創造

foem 文化創造と社会包摂

Reinventing the City  
for Cultural Creativity and Social Inclusion



## 「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」

(「グローバルCOE」学際、複合、新領域分野)



都市研究プラザ所長  
橋本リーダー  
佐々木 雅幸

グローバル化と知識経済社会への移行の中、芸術をコンテンツとした「創造的文化産業」やその担い手たる「創造階級」が世界的に注目される一方で、新自由主義的な構造改革により福祉政策が低迷し、障害者や野宿者などに代表される「社会的弱者」の生活困難が増大しており、社会的格差の充満が緊急の政策課題となっています。

本プログラムは、理論的には都市の「文化と産業の創造機能」に着目する「創造都市論」をベースにして、現場プラザでの社会実験を通して市民の多様な創造を引き出す「創造の場=創造的都市空間」の形成を目指しています。芸術文化の創造的な作用（「文化創造」）を活かし、新産業創出のみならず、都市コミュ

ニティ再創造と、社会的に排除されてきた人々の自立支援に「社会的包摂」を実現する都市（空間）のあり方を学際的に追求します。

こうした実践を通じて21世紀にふさわしい先端学術の形を志向するとともに、都市固有の文化的背景とガバナンスのあり方を歴史的に俯瞰し、グローバルな視点からベンチマーク都市の比較研究を積み重ね、さらに「市民知」すなわち現実に生起している諸問題を創造的に解決する市民の知恵に学び、これを吸収することで、従来の都市研究の特にはまらない躍動的な都市学の形成を企図しています。



## 大阪市立大学 都市研究プラザ URP(Urban Research Plaza)

### ■ 都市研究とまちづくりの「広場」

「都市研究プラザ」は、2006年4月に誕生しました。日本最大の公立大学として、これまでも都市の研究に注力し実績をあげてきた大阪市立大学が、都市再生へのチャレンジとして立ち上げたまったく新しいタイプの研究施設です。

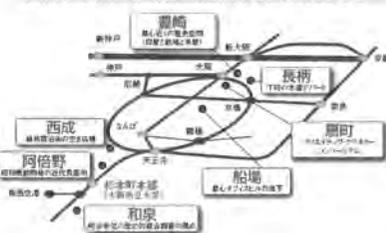
「プラザ」という名前が示すように、この施設は「広場」のイメージに基づいてつくられています。従来型の、固定した施設とスタッフを前提とした組織ではありません。大阪や周辺都市、ならびに海外の都市に、小さくて移動可能なサテライト施設（「現場プラザ」、「海外サブセンター」）を設けて、教員・院生スタッフは常に現場や海外に出て研究やまちづくりの活動に専心しています。「プラザ」は、研究やまちづくりネットワークの開かれた拠点であり、「都市」をテーマとする人々が出会い、集まる広場です。

### ■ 町に溶け込む大学、グローバルネットワークを駆使する研究拠点

大阪は今、色々な面で日本最大の課題を抱えた「苦悩する都市」です。その大阪の街に溶け込み、市民や都市と苦しみや喜び、怒りを共有しながら研究する組織でありたい。これが「都市研究プラザ」の理念です。

また「プラザ」は、世界の第一級の都市研究者・政策家を大阪や海外サブセンターに招いて国際シンポジウム・ワークショップを頻りに開催し、「プラザ」を中心とする都市研究・都市政策の国際的ネットワークもつづけています。

### 都市空間の隙間に入り込み街に溶け込む現場プラザ



## ◆ 4ユニットによるホロニックな研究プロジェクト展開

### ★都市論ユニット (佐々木雅幸, 天作弘, 谷直樹, 塚田 孝, エシントン・フィリップ)

- ユニットテーマ：創造都市論をベースに都市固有の文化的背景とガバナンスのあり方を歴史的に俯瞰し創造的都市空間の形成を考察する
- 研究分野：都市経済学, 都市政策学, 都市社会学, 空間形成史, 比較都市史, 地域史, アジア都市論, 建築史学
- キーワード：創造都市, 文化産業, 創造産業クラスター, 縮小都市, 中心市街地活性化, 郊外ニュータウン, 都市居住, 環境容量, ガバナンス, 伝統都市, 近代都市, 都市法, 社会的結合, 中心と周縁, 歴史系博物館, 保存と活用
- 研究プロジェクト
  - (1) 創造都市と創造的文化産業に関する国際比較研究
  - (2) 創造的縮小都市政策に関する比較研究
  - (3) 巨大都市大版の形成と変容に関する研究
  - (4) 大版を軸とした比較都市史研究

### ★社会包摂ユニット (水内俊雄, 谷 富夫, 全 弘彦, 橋谷美恵子, チェン・インファン)

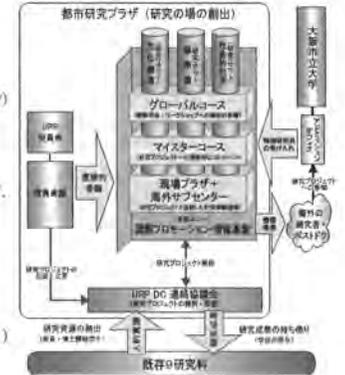
- ユニットテーマ：ホームレス, マイノリティ, 住居困難, あるいは社会的条件不利地域の居住支援を通じた社会的包摂実現に向けての実践
- 研究分野：地理学, 社会学, 住居学, 都市計画
- キーワード：ホームレス, マイノリティ, エスニシティ, ジェンダー, 社会的排除と包摂, 高齢者・障害者, 居住支援, NPO, 都市住宅問題, 居住政策, 地域住居計画, 居住計画, まちづくり
- 研究プロジェクト
  - (1) 排除から包摂をめざしたホームレス・ハウジングブアの就労, 福祉, 居住支援システムの構築
  - (2) 東アジア大都市の資本制文化と人間-民族関係と外国人労働者—
  - (3) 地域住宅ストックを活用した住居困難者支援方針に関する研究

### ★文化創造ユニット (中川 真, 黒名光市, サムロントン, ブッサコン)

- ユニットテーマ：アート・デザインを媒介とした都市空間の再構築とコミュニティの多様性の保証, 活性化
- 研究分野：文化政策, 都市計画, アートマネジメント, 都市文化, 文化経済
- キーワード：アート, 歴史的空間, タウン・マネジメント, インクルーシブ社会, コミュニティ, 多様性, マイノリティ, 共生, 文化資源, サウンドスケープ, コミュニティツーリズム
- 研究プロジェクト
  - (1) 現代社会におけるアートのアクセシビリティ・マイノリティに向き合う社会の構築に向けて
  - (2) アジアの歴史的都市空間の再生とコミュニティの多様性の保証
  - (3) 文化創造型タウン・マネジメント・組織と空間形成に関する研究

### ★国際プロモーション・情報基盤ユニット (岡野 浩, 長尾謙吉, 森 洋久)

- 研究分野：国際戦略会計論, 文化産業論, 空間情報学GIS



## ◆ 若手人材教育コース

グローバルコース  
都市の知のオープンソース化を目指し、国内外の都市を対照として比較研究や実験的手法等を用い、グローバルな視野で21世紀の都市空間を構成する知を洗練化するコンセプト志向の人材育成コース

マイスターコース  
プロジェクトを通じて徹底して現場に入り込み、現場の要請を読み解き具体的な解決策を探るために様々な専門分野を連結しながら社会実験に挑み、新たな公共知のアイテムを創出する人材の育成コース

## ◆ 研究推進体制

【教員 研究員等数】(平成21年6月1日現在)

教授	准教授	特任教授	特任講師
2(1)	1	1	5

< G-COE事業推進担当者・受入教員 > (1) 11名兼任, 内職

教授	准教授	特任教員・特別研究員
9	7	6

URP特任研究員		G-COE特別研究員
国内	国外	
34	6	62 (13)

( )は博士研究員

## ◆ 研究の蓄積・公表

都市研究プラザ, GCOEプログラムでは、8つのジャンルの刊行物を出しています。

国際ジャーナルCCS: Elsevier社発行, URP編集.  
City, Culture & Society 誌を年に4回発行

ドキュメント: 研究, 活動, 調査を記録する公式な刊行物  
ワーキングペーパー: 研究の途中経過や暫定的な成果を論文形式でまとめた刊行物

レポート: 研究, 活動, 調査を記録する暫定的な刊行物  
ニュースレター: 年に4回発行する, 研究, 活動などの速報  
年報: 自己評価書を兼ねた活動記録集

書籍: 出版社を通じて刊行する高質の出版物  
2009年7月「創造都市と社会包摂—文化多様性・市民知・まちづくり」を水曜社から刊行

アーカイブ: 写真や地図(絵図, 電子地図など)の所蔵庫

## ◆ OCU国際戦略の拠点

文化研究科COE都市文化研究センターのサブセンター(上海, パンコク, ジョグジャカルタ, ロサンゼルス)を継承し、さらに香港, ソウル, メルボルン, 台北などに調査研究拠点を拡大。またOCU大阪市立大学の国際戦略のヘッドクォーターとしての機能も担っています。